

瑞穂ちゃんのアリス☆

『7人はお母さまを恋してる』の本



ESSENTIA

イラスト・藤真拓哉
ストーリー・Yan-Yan

■表紙は瑞穂ちゃん&貴子です。
やっぱツンデレいいっすよツンデレ！と改めて思いました（笑）
今回は小説風イラスト 18禁本です！ストーリーはなんと Yan-Yam さんですよ！



●キャラクターデータ●



宮小路 瑞穂

祖父の遺言により男でありながら女子校への転校を余儀なくされた主人公。本人の意志と裏腹にエルダーになり、乙女街道を爆進するはめに。



御門 まりや

瑞穂の幼なじみにして最大の協力者。瑞穂の女性としての魅力を最大限に引き出してはいるが、ある意味瑞穂を玩具にしているとも言える。



十条 紫苑

瑞穂が男だと見抜いた眼力を持つ先代エルダー。まりやと一緒に嬉々として瑞穂に協力するが、時折、瑞穂が男であることを忘れる天然な一面も。



厳島 貴子

学園の生徒会長。最初は瑞穂を敵視して居たが、後にエルダーとしての瑞穂を認める。



高島 一子

22年間お姉様を待ち続けた幽霊。お姉様の息子であり瓜二つな瑞穂に、ただならぬ好意を持つ。



梶浦 緋紗子

瑞穂の素性を知る担任。常に飴玉を持っていて、まりやまでは行かないが、時折、瑞穂をからかって楽しんでいる。



周防院 奏

瑞穂、まりやと一緒に寮で生活している下級生。瑞穂の妹として専属の世話役で、日夜お茶当番にいそしんでいる。

目次

| | |
|------------------------|-------|
| キャラクターデータ | 04 |
| 宮小路瑞穂 | 05 |
| 周防院奏 | 06,07 |
| 御門まりや | 08,09 |
| 十条紫苑 | 10,11 |
| 厳島貴子 | 12,13 |
| 梶浦緋紗子 | 14,15 |
| 高島一子 | 16 |
| EVE ~ new generation ~ | 17 |

宮小路 瑞穂

生徒「いやああっ何あれ〜？
あんな格好で立たされてるの？」
生徒「仕方ないんじゃない？
我が学園のエルダーが男…だったなんてね」

生徒「汚らわしいわ女装して紛れ込むなんて
でもなんでアソコまで起たせてるの？」
生徒「やっぱり変態なのよ変態
だって見てあの汚らわしいモノの先から…」
瑞穂「ち…違いうやだ…ボクはそんなんじや
見ないでみないでえ！」

生徒「私たち！完全に騙されていたわ！」

生徒「もうっ！蹴りの二発でも
入れてやらないと気がすまないわ！
汚らわしいオスは…」

この学園から出て
行きなさい！！

ひあああ
ああああっ！
だめえ……

生徒「やだあゝ精子？精子出してる〜」

生徒「あの白いおしっこが…
精子…ですか？」

生徒「汚なあくいこの…変態！」

止まらない……
止まらないよお！！

らめ…
らめえ…

出てえ…

瑞穂「か…奏ちゃん、なんて格好？」

奏「だって…私はお姉さまの世話係なのですよ、

それに！」

瑞穂「!?」

瑞穂「奏ちゃんの胸、ちっちゃくてかわいい♡」

奏「お…お姉さま…そんな引く張っちゃうだめですぅ。」

奏、「頭おかしくなっちゃうのですよ！」

瑞穂「でも、私のことが好きって、

エッチがしたいって言うてきたのは奏ちゃんですよ」

周防院 奏

トロ〜!

ギョッ

奏「お…お姉さまの意地悪う。」

だって奏、奏お姉さまのものになりたかったのですよお」

瑞穂「ありがとう奏ちゃん。
うれしいよ。あ、奏ちゃんのこい、
まだツルツル」

奏「じゃ…じゃあ、奏の中に？」

瑞穂「ん、それは奏ちゃんにはまだ早いかな
でも、このくらいなら」

奏「あ…あ、な、なんですの？

お股の間からお姉さまのおちんちんが出たり入ったりして、
奏におちんちんが生えたみたいで恥ずかしいのですよお。
おまけにお股がジンジンしますう」

ズッ
ズッ
ズッ

ああっわらひもお
お姉さま…うれひっ…
うれひいれすう！

ミルクおいしい…
おいしい♡

奏「は…恥ずかしいです。
奏、お漏らししちゃいましたのですよお。
奏、まだまだ子供なんですわ」

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

瑞穂「あ、気持ちいいよ奏ちゃん。
奏ちゃんのちっちゃいおマンコ、
すく〜らよお」

奏「奏もれすう♡

奏、気持ちよすぎて、

エッチな子になっちゃいまらのお」

瑞穂「はあはっ、イク、イクよ！」

ズッ
ズッ
ズッ

まりや「ほーら瑞穂ちゃん、

これでどこから見ても女の子よ！

でも…どーしておちんちんこんなに大きくしてんのよ！

これじゃあパンティにおさまらないでしょ！

瑞穂「だってさつきからまりやの胸が背中にいー」

まりや「しょうがないわね…」

瑞穂「な…まりや何して…」

まりや「もう…出さないののおっきいの、

おさまらないでしょ。私が…出してあげる」

う…うわあ!?

ほ

瑞穂「あ…そんな、まりやが…おちんちんおいしそうにくわえてえ」

まりや「どう？裏筋も、感じるでしょ？」

瑞穂「か…感じるけど…ああっ、そ…そんな奥までくわえ込んで

あ…ああっ、さきつちよ強く吸つちやああ。

ほ…ボクもっ…」

ん…

んん…♡

んん…♡

瑞穂ちゃん…
出たりい…

瑞穂「初めて…だったの？」

まりや「うん。でも…でも私…

いっちゃあああああああああう!!!」

瑞穂「中で…中で…出しちゃった」

入ったりい♡

まりや「な…何してるの、瑞穂ちゃん!?

そ…そんな大きなの、入るわけないじゃない!」

瑞穂「だって…まりやがこんなにしたんだから

責任はちゃんと取ってもらわなきゃ!」

まりや「そんな、私、初めて…ひゃっ」

瑞穂「ほら、ミルク、たっぷりかけておいたから」

まりや「あああああああつ!!!」

瑞穂「入った…奥まで入ったよ!」

まりや「いやあ、こんな格好で恥ずかしい…恥ずかしいよお。

私の初めて、瑞穂ちゃんに!」

トホッ…
アッアッ…

たぐっ

あッ

ハッ
ハッ
ハッ

ムニイ

十条 紫苑

瑞穂「ああくん、紫苑さんまた、胸揉んじやだめです。」

乳首が擦れて〜」

紫苑「くすっ、かわいい反応。」

瑞穂さんはからかいがいがあっていつも楽しいですわ」

瑞穂「この〜」

瑞穂「いつもいつもからかわれてはいられませんよ。」

紫苑さんも知ってる通り、私も男の子なんですから」

紫苑「…瑞穂さんにでしたら、いいですわよ」

瑞穂「紫苑さん」

紫苑「あ、ああっ！瑞穂さんの、下からパンパン突き上げてえ。」

気持ちいい！気持ちいいですっ」

瑞穂「紫苑さん：なんてきれいな：胸。

あまりにもきれいで、私、汚してしまいたくなります」

巖島 貴子

貴子「あ、そこ…ですわ。お姉さま、だめ…もっとやさしく、やさしくして下さい。」

私、お姉さまのこと…考えるだけでいつもアノコを濡らしていましたのよ。
あ…瑞穂さん！

瑞穂「貴子さん……」

貴子「!? お姉さま!いつからそこに!?!」

瑞穂「私、あなたに嫌われているのかと思っていました」

貴子「き…嫌いです!私、あなたのことなんかっ!」

ゆ…指があゝこんな、いけません。いやらしい…ですわ」

瑞穂「クスツ。今更嘘ついても、もう遅いですよ。」

体は正直…みたいですし♡私の…欲しいですか?」

貴子「いじわるう、そんないじわるなお姉さまなんて…ひあっ!?!」

は…
入ってえ…

お姉さまの♡

貴子「嫌い…あ、嫌…い、嫌いっつ」

瑞穂「あ、アソコで私たちの行為を覗いているのは生徒会の君枝さん」

貴子「だ…だめっ見ちゃだめ！こんな姿…隠して、隠してえ」

瑞穂「貴子さんが素直じゃないからお仕置きです。

でも、さつきよりここ、締め付けて来て、

もしかして、興奮、してます？」

貴子「違いますっ！私…そんな女の子じゃあ、

イヤクツ、意地悪…

お姉さまのいじわるっつっつっつっつ！！」

貴子「ま…またいじわる…」

つっつっつっつっつっつっつ。

瑞穂…お姉さま♡」

梶浦 緋紗子

梶浦「あらあらあら、瑞穂君って本当にかわいくて女の子みたい。」

実は本当に女の子だったりして♡」

瑞穂「違いますよお、真正正銘男の子です！」

梶浦「そう？じゃあ私が確かめてあげる」

瑞穂「な…緋紗子先生どこ触ってるんですかあ」

梶浦「本当、こんなかわいい顔に、

こんな立派でおいしそうなおちんちんがついてるなんて。

こ…こんなの見せられたら、先生…

食べてみたくなっちゃうわ♡ね、瑞穂…君♡」

瑞穂「だ…だめっだめえっ」

梶浦「そんなこと言っつて、瑞穂君の、

先生の胸の中でドクンドクン脈打って、

先走りあふれさせて喜んでる♡」

瑞穂「だってだって、先生の胸柔らかくて…

あったかくて…すごっ、すごいですっ」

梶浦「あらあら、素直でよろしくよ。

ご褒美にキャンティあげちゃうんだから♡」

瑞穂「ひゃあああ。
お尻…キャンディ入って…」

梶浦「ふふ、三つもお尻にキャンディ類張って♡
あらあらさつきよりおちんちん、大きくなってるない？」

瑞穂君「たのしいやらしい子」

梶浦「ああっ、入っちゃった♡
おつきいおちんちん。先生のお尻にいーっ」

瑞穂「おはあ♡先生、
そんなに締め付けちゃだめですよ」

梶浦「なあに？もうっもうっびびびびキャンディの？
そうね、まだ敏感な年頃ですもんね。
いいわ♡先生にいっぱいかけて」
瑞穂「はあ出ちゃ、ああっー」

梶浦「すこおおい元気♡
頂戴、もつと、もつとっっはあああ♡
瑞穂君の濃いいザーメン

いっばいちよったあああ♡

梶浦「瑞穂君、すこく良かったわ。
ご褒美にまた、
キャンディあげるわね」
瑞穂「は…はい」

瑞穂「私、一子ちゃんの
メイドが見てみたいなあ」

瑞穂「じゃあ猫耳」

瑞穂「今度はスク水!」

一子「って、お姉さま
いつになったら私と
エッチして下さるんですかっ!!」

瑞穂「だって時間は
いくらだってあるでしょ。
一子ちゃん幽霊で年取らないし」
一子「えっ?!」



■11月にコミックスの出たEVE～new generation～のイラスト「乃依」です。
ゲームは橋本たかしさんのキャラデザで、かわいっすよ☆漫画のほうもよろしくです！
アルトももっと描きたかった～（泣）。



あとがき

時間があ時間があ～、ということであとがきです。

「おとボク」、アニメなかなかクオリティー高くて見てますが、瑞穂ちゃんかわいっすよ☆

ロリ好きな藤真的には奏ちゃんを描いてる時が一番萌えましたかね（笑）。

何はともあれフルカラー 18 禁本ですよ。今年夏のフルカラー全年齢も初めてでしたが 18 禁も初めてです。

正直もっと時間があつたらいろいろやりたかったこともあったのですが、今回はこれが精一杯でしたね。

心のこりは圭ちゃんが描けなかったことですかね。

それと、なんと今回はストーリーを Yan-Yam さんをお願いしました～っ！エロいです！

ついでに絵もドロドロにしてみましたよ（笑）。

ではでは今回はこの辺で☆

商業誌のほうの「ネギま!」「熱風海陸フシロード」もよろしくです!!

藤真拓哉



おくずけ

瑞穂ちゃんのアレ

2006.12.31. 発行

著者：藤真拓哉

サークル：ESSENTIA

URL:<http://www.geocities.jp/fujima040/>

印刷：コーシン出版

現在、当サークルでは、通販活動は行っていません。

著者、サークルの許可なく、本誌の一部、または全部の無断転写・複写・転載することを禁じます。

■このイラストは「まんが学園4年生」という4コマ雑誌の表紙絵です。
ロリッ娘だあ。何気にかぼちゃパンツって初めて描いたかも（笑）。

『7をばあ爺さまに恋してる』の本

瑞穂ちゃんの7☆

takuya fujima@ESSENTIA/2006.12.

FOR ADULT ONLY/X;U-18.